

現在、「スイッチング支援に関するルール、システムへのご意見・ご要望」に上がっている広域機関側での改修内容、また、要望に上がっていない改修内容について、以下の通りご提案いたします。

改修内容	ご提案内容など
<p>✓ <u>メール通知機能の改善</u>（ご要望のNo.35、36）</p> <p>案①（No.36対応） メールフォーマットを低圧、高圧、FITで分割する。</p> <p>案②（No.35対応） 案①に加え、低圧、高圧、FITで送信先アドレスを分けて送信を可能とする。</p>	<p>実務者会議の3社以外に、ヘルプデスク経由でも小売事業者から要望として頂いており、ニーズはあると思われる。コスト対効果が見込めれば、今期での対応を実施する。但し、案②を選択する場合、案①の3倍のコストになること、また何れの案でも、低圧、高圧、FITに分かれたメールで確認可能なため、案②でないと運用上致命的なケースが無ければ案①としたいがいかがか？</p>
<p>✓ <u>Web画面機能の対応範囲拡大</u></p> <p>現在はIE11のみを正式対応としているが、他の組み合わせ（例えば「GoogleChrome」）への対応などを行う。</p>	<p>長期的には、新OS、新ブラウザへの対応ニーズも高まると予想しているが、GoogleChromeについては現時点までに多くの事業者から対応について問い合わせを受けており、一定のニーズがあると思われる。他に優先して行う改修がなければ、GoogleChromeへの対応を今期で行いたいと考えるがいかがか？</p>
<p>✓ <u>API連携時の複数証明書設定を可とする</u></p> <p>⇒APIの場合、現在システム上は1事業者で1クライアント証明書のみ制限がある。証明書の有効期限切れ時における小売事業者側での証明書入替のインパクトを極小化するため、1事業者で複数証明書の設定を可能とする。</p>	<p>証明書の期限切れ発生時期は、最短で2017/12頃の見込みであるため、緊急性は低いと思われるが、多くのAPI利用事業者が新証明書への入れ替えを行う際には大きなインパクトが予想され、対応必須と考える。他に優先して行う改修がなければ、こちらを今期で対応したいと考えるがいかがか？</p>